

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】令和2年10月1日(2020.10.1)

【公開番号】特開2018-85001(P2018-85001A)

【公開日】平成30年5月31日(2018.5.31)

【年通号数】公開・登録公報2018-020

【出願番号】特願2016-228408(P2016-228408)

【国際特許分類】

G 0 6 T 7/20 (2017.01)

G 0 6 Q 10/10 (2012.01)

【F I】

G 0 6 T 7/20 3 0 0

G 0 6 Q 10/10 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年8月24日(2020.8.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

情報処理装置の前方状態を判定する情報処理装置であって、

前記情報処理装置の前方が撮影された画像から人物を検出する検出手段と、

前記検出手段により検出した人物を追跡する追跡手段と、

前記追跡手段による追跡状況に基づき、前記前方状態の遷移確率を制御する制御手段と

、

を備えることを特徴とする情報処理装置。

【請求項2】

第1の状態遷移確率と前記第1の状態遷移確率よりも低い値である第2の状態遷移確率を記憶する記憶手段をさらに備え、

前記制御手段は、前記追跡手段により追跡処理が開始または終了した場合は、前記前方状態の状態遷移確率として第1の状態遷移確率を設定し、前記追跡手段により追跡処理が継続している場合は、前記前方状態の状態遷移確率として第2の状態遷移確率を設定することを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項3】

前記前方状態は、予め登録された人物の在席、前記予め登録された人物とは異なる人物の在席、離席の3つの状態のいずれかであることを特徴とする請求項1または2に記載の情報処理装置。

【請求項4】

情報処理装置の検出手段が、当該情報処理装置の前方が撮影された画像から人物を検出する検出工程と、

前記情報処理装置の追跡手段が、前記検出工程により検出した人物を追跡する追跡工程と、

前記情報処理装置の制御手段が、前記追跡工程による追跡状況に基づき、前記前方状態の遷移確率を制御する制御工程と、

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項5】

コンピュータを、
前記コンピュータの前方が撮影された画像から人物を検出する検出手段と、
前記検出手段により検出した人物を追跡する追跡手段と、
前記追跡手段による追跡状況に基づき、前記前方状態の遷移確率を制御する制御手段と
して機能させるためのプログラム。